

# 環境学習

# ニュース News



発行：茅ヶ崎市環境部環境政策課

電話：0467-81-7176

この環境学習ニュースは、子どもたちの環境意識の向上に向けて、学校教員の方々に役立てていただくことを目的に発行しています。右記の二次元バーコードからオンラインでもご覧いただけます。



## ～ちがさき環境フェア2024を開催しました～ スクールエコアクション活動展にご協力いただきありがとうございました

11月10日(日)、茅ヶ崎市役所にて「ちがさき環境フェア2024」を開催しました。

ちがさき環境フェアは、【未来へつなごう！環境にやさしいまち】をテーマに、未来の暮らしと社会のために自分たちでできることを楽しみながら発見できるイベントです。

環境フェアでは、市民活動団体・事業者・行政による環境に関するパネル展や小中学校からご協力いただきました「スクールエコアクション活動展」、エコ体験ができるワークショップ、リサイクルコーナー、おもしろ環境教室、講演「山神明理さんと考える地球温暖化」など、環境に関する様々なイベントを開催し、当日は、親子連れをはじめ、約2250人にご来場いただきました。

また、今回はホノルルとの姉妹都市友好協定締結10周年を記念しまして、アロハシャツリサイクルブースを作り、大好評でした。

スクールエコアクション活動展は、環境フェア以外にも、11月5日(火)～11月9日(土)に市役所市民ふれあいプラザ、11月16日(土)にイオン茅ヶ崎中央店でも開催し、各学校の環境に関する取組について、多くの方にご覧いただきました(開催のようすは4ページをご覧ください)。



山神明理さんの講演で雲を作る実験をしました。



環境教室「EVモデルカー作り」の様子



着られなくなったアロハシャツを  
リユース・リサイクルしました



パネル展では、市民活動団体・事業者等が  
環境に関する取組を来場者へ紹介しました

## 【スクエコ動画】 浜之郷小学校・緑が浜小学校

「スクールエコアクション」とは、茅ヶ崎市の公立小中学校で実施している環境についての学習や、環境にやさしい活動を継続的に取り組むための仕組みです。各学校では、地域特性を生かした自然観察会などの環境学習や、学校生活における省エネ・省資源に関する活動などが行われています。

各校のスクールエコアクションの取組を紹介するため、平成25年から平成30年までは、ちがさき環境フェアで「スクールエコアクション発表会」を実施し、中学生が学校生活における環境に関する取組を発表しました。令和元年からは、小学校の環境に関する取組を、市の環境政策課が取材し、まとめた「スクエコ動画」をスクールエコアクション活動展で上映しています。今年度は、浜之郷小学校と緑が浜小学校の取組を紹介しました。

### 浜 之 郷 小 学 校

浜之郷小学校では、2年3組の子どもたちが自分たちの過ごす公園を自分たちできれいにするための活動を行い、4年生の子どもたちはごみの分別や収集について学習しました。

2年3組は生活科の学習で公園や耕作放棄地などに行き、自然観察をして身近な場所や植物・生きものなどを学びました。野草にもそれぞれ名前があって、個性があって、おもしろさがあるなど、散策のたびに発見して、その際に拾った野草やラベンダー、枝や石などを利用して工作もしました。

また、自然に触れたり、遊具で遊んだりする中で、公園の環境の変化に気付き、クラスで話し合うようになりました。

そして、公園をよりよくするために、自分たちにできることを考え、円蔵第一公園の公園愛護会に登録して毎週清掃をするようになりました。

4年生の子どもたちはごみの分別や収集について学習し、そのごみの行方を調べるため、環境事業センターや寒川広域リサイクルセンターへ見学に行きました。また、市役所の資源循環課・環境事業センターの職員が実施している出前授業も受けました。

家から出たごみの行方を調べていく中で、学校給食の残食の行方についても調べていくことにしました。学校給食の残食について知るため、各クラス日替わりで残食チェックを行いました。その後、処理したものの中から「燃えるゴミ」としたものを栄養士の先生から見せてもらい、給食の残食を減らすために啓発ポスターや動画作成の取り組みをしました。



公園を自分たちできれいにするために  
毎週清掃活動を行いました。



各クラス日替わりで  
給食の残食について調べました。

## 緑が浜小学校

緑が浜小学校では、毎年6月に「みど小まつり(学園祭)」を実施しています。3～6年生がお店を出店し、1～2年生はお客さんとして参加する行事です。毎年、全校生徒が楽しみにしている「みど小まつり」を、エコな視点を入れて開催するためにみんなで意見を出して話し合いをしました。ペットボトルなどの資源ごみをうまく活用したり、ごみを出さないようにタブレットを活用したり、エコな工夫がたくさん見られました。

まず、「みど小まつり」開催に際し、これまでは「何がもったいなかったか」「無駄にしていたものを有効活用できないか」などについて、段ボールや紙の使っている量が多すぎるのか、分別や処分の仕方が良くないのか、景品や商品の作り方に工夫が必要なのかなど、みんなで意見を出し合い、考えていました。

それらを解決するための出店に向け、海で拾ってきたものを景品や商品に活用する、段ボールや紙、新しいものはなるべく使わないようにするなど、みんなで協力して作業を進めました。

当日はどの学年もエコを取り入れた取り組みが見られました。2年生はペットボトルを利用したエコ風鈴を展示。3年生はエコすごろくやわなげを作ってレベルごとにランキングの発表などを行いました。

4年生はすごろくやビンゴ、段ボールや洗濯ばさみを使った魚釣りのゲームを作成。5年生は体育館で椅子を使った迷路にエコに関するクイズやごみの分別をするアトラクションを作りました。6年生が作ったお化け屋敷はとても怖そうな雰囲気でもみんなわくわくしながら待っていました。

どの取り組みでも上級生のみんなが1年生たちにやさしく教えているのが印象的でした。

今回のみど小まつりを通して、エコに対する考え方や取り組みの大切さを理解したという声を多く聞くことができました。



「みど小まつり」で各クラスの取り組みの様子



# スクールエコアクション活動展

今年度のスクールエコアクション活動展は3回開催し、多くの方に、学校と子供たちの環境に関する取り組みについて、ご覧いただくことができました。

学校から配っていただいた活動展のお知らせをご覧になり、親子でご来場いただいた方もいました。作品をご覧になった方からは、「小さい頃から楽しみながら、みんなで取り組むのはとても素敵だと思います!」、「ビデオ上映に自分が出ているのを見て嬉しかった。」「このような発表する場があることが大切。」「動画を見て私達も取り組んでいかなくては。」などの感想をいただきました。

11/5(火)~9(土)  
@市民ふれあいプラザ  
(市役所1階)

140インチモニターで  
スクエコ動画を  
上映しました



11/10(日)環境フェア  
@市民ふれあいプラザ  
(市役所1階)

環境フェアに  
ご来場いただいた方に  
ご覧いただきました



11/16(土)  
@イオン茅ヶ崎中央店  
催事スペース

イオンへお買い物に  
来られた方々に  
ご覧いただきました



## 【環境に関する作品や資料を出展いただいた学校】

香川小学校(「エコブランド バイバイプラスチック」をテーマに取り組んだ活動のまとめ)

松浪小学校(ごみについてまとめた新聞を掲載)

松林中学校(ベルマーク回収の伸びを比較して集計)

円蔵中学校(川の水質調査をまとめて掲載)

赤羽根中学校(学校内で行っている様々なエコ活動のまとめ)